

乳幼児から小学生までがのびのびと遊べる全天候型遊び場の建設を望みます

【ご意見】（令和7年4月16日受付）

千曲市内の公園は充実していると感じる一方、猛暑や悪天候になると行き場がなくなってしまう現状です。支援センターや児童館など、休日にも関わらず解放してくださっていますが、支援センターでは小さい赤ちゃんもいるので、体を思いっきり動かして遊ぶのには適しておらず、反対に児童館は未就学児、はいはい時期の赤ちゃんにとっては安心して遊ぶことは難しいと感じます。

そんな子育て世代の悩みを解決してくれるのが乳幼児から小学生までの、幅広い子どもたちが、安心してのびのびと体を動かして遊べる全天候型遊び場の建設です。天候に左右されないで、いつでも子どもたちが思いっきり体を動かして遊ぶことができ、運動不足の解消や、体力向上にもつながると感じられます。

山形県の施設を例に挙げると、以下のような子どものための施設があります。「げんキッズ」「シェルターインクルーシブプレイスコパル」「ベニっこひろば」「くるんと」「総合子どもセンターめんごりら」

- ・広々とした空間、大型遊具など、室内でも十分に運動量が確保できる

- ・小さな子も安心して遊ぶスペースが確保されている
- ・飲食スペースがあり、お出かけのハードルが高くない
- ・無料で遊べる などが非常に魅力的です。

（県民以外でも入場できるので、ぜひ一度視察を試みてほしいです。）

さらに、SNS では、このような全天候型遊び場の情報は重宝されています。魅力的な施設として SNS で広がれば市外、県外から多くの子育て世代の来訪や観光客増大、経済効果も期待できます。実際、子育て世代に優しい地域の千葉県流山市は地価が上昇しているという情報もあります。

市内にこのような子どものための屋内施設がないことは喫緊の課題であると感じます。「子ども真ん中宣言」を訴える千曲市。早急に、そして前向きに検討してほしいです。

このたびは貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。お寄せいただきました内容につきまして、下記のとおりご回答申し上げます。

【回答】

ご指摘のとおり、現在、市内において雨天時でも利用できる「屋内の遊び場」は、更埴と上山田の「子育て支援センター」と「上山田児童館」がありますが、ご指摘の乳幼児から小学生までの幅広いこどもたちが、安心してのびのび体を動かして遊べる全天候型遊び場ではありません。

山形県の施設を事例としてお示しいたしましたが、千曲市では、まず、市内の既存の公共施設においてボールプールやクライミング・ウォールといった小さな遊び場が確保できないか検討を進めるとともに、川西地区の道の駅や屋代開発地区の公共ゾーンなど今後予定している大型ハード事業の施設内での遊具設置も検討していきたいと考えています。

なお、市では雨や猛暑で外遊びができない日でも親子で楽しめる遊び場の紹介として「おでかけスポット&室内あそび紹介 BOOK」を作成いたしました。室内遊びや工作の紹介も盛り込んでいますので、ぜひご活用ください。

担当課 総合政策課